

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年12月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100289		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム なでしこ		
所在地	尾道市吉和町5122-1 (電話) 0848-25-2772		
自己評価作成日	令和5年10月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491100289-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491100289-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年10月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

個人情報の秘守義務を遵守しながら、ケア開始時の基本である入居者の生活情報を可能な範囲で集めて、まずは“その人の人となり”を把握しようと心掛けています。また、ご縁があった入居者との繋がりを大切に、医療ニーズが高くなってしまっても、介護職で対応し得る状態である限りはご退居としないよう努力をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の人権やプライバシーの遵守を重要視し、利用者それぞれの生活や背景、人とのつながりなど人物像をしっかりと把握し理解に努め日々の支援を実践している。身体拘束廃止や接遇などチェックシートを活用し、日頃のケアや業務を振り返り自分たちの実践している支援を見つめ、相手の立場に立った利用者本位のケアに努めている。又、振り返りを重ねることでサービスや支援の質の向上に繋げている。地域との結びつきや協力関係の構築に力を入れた取り組みがあり、近隣の事業所、地域との協力・連携がしっかりと形成されている。非常時の避難先として事業所を提供することや社会福祉協議会主催の「地域見守り訓練」への参加、敷地内の畑を地域住民への貸し出しなど、自らが地域資源となるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関ホールと両ユニットの壁面に“経営理念”を掲示し、法人全グループで共有している。毎年新年には経営理念にちなんだ内容にて社員各々に決意表明を掲げ、意識を持ち日々のケアや業務に努めていき、職員の成長に繋がる取り組みを続けている。	玄関と各ユニットそれぞれに法人理念を掲示し確認できるようにしている。職員は毎年1月に決意表明として基本理念をもとに年間個人目標を策定し、個人の意欲を明確にし取り組んでいる。年2回面談にて進捗を確認し、年末に達成度を振り返り各自取り組みや資質の向上へ繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元の町内会に入会して地域の清掃活動に参加したり、敬老会等の地域行事にお招きを頂いている。	町内会に加入し、回覧板にて地域行事や催しなど情報共有している。コロナ禍にて交流の自粛を継続する中、以前は敬老会やとんど、保育園の慰問など様々に交流があった。敷地内の畑を地域住民に貸し出し、収穫した野菜の提供を受けるなど繋がりを継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	社会福祉協議会主催の「地域見守り訓練」に参加して地域のネットワーク活動の一旦を担っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防で外部関係者を交えたものは中止していたが、今秋より再開している。町内会長や民生委員、市町担当者や社協職員にもお声がけをしている。	コロナ禍にて法人内系列の3事業所でのリモート開催が続いており、議事録を市や家族に送付し周知に努めている。今秋より対面での開催とし、家族や地域包括支援センター、民生委員の参加にて意見交換を行っている。家族から面会再会の希望に玄関先での面会を行えるように取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	施設運営で疑問や質問があれば、随時電話や窓口を訪れて指示を頂いている。	運営や介護保険に関する内容や解釈について法人本部にて市へ確認し、各系列事業所への共有を図っている。利用の問い合わせや虐待事案に連携するなど、日頃から市や地域包括支援センターと協力、共同に努めている。市主催の市民公開講座や研修会へ積極的に参加し取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	普段のケアの中で、拘束に繋がる恐れがある事例が発生する度に注意喚起を促している。	法人系列事業所合同で身体拘束、虐待廃止委員会を開催し内容や研修をカンファレンスで全員が共有している。虐待の芽チェックリストの実施や、接遇・マナー研修では日々のケアを自分の立場に置き換えた視点でアンケートを取り支援について振り返りを行い、意識を高め実践に繋げている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	毎月1度の職員ミーティングの場で、権利擁護研修と題したミニ研修会を開催し、虐待やケア方法などの事柄を伝達している。	/	/
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	上記の権利擁護研修の中に、成年後見制度についての内容を加えた事がある。	/	/
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	膨大な書類を扱う契約時のみでは一度にご理解をするのは困難であるため、契約後でも質問や疑問があれば随時受け付けるようお伝えしている。	/	/
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関ホールにご意見箱を設置し、ご意見や苦情があれば任意で利用してもらっている。	家族からは面会や連絡時に意見を確認している。面会希望にリモートや、玄関での面会に繋がったことや、口腔ケアの希望に歯科衛生士の訪問を定期的に行うようにした例がある。利用者へは日々の関りから確認し、コーヒーを飲みたい希望に喫茶店に連れ至福の一杯を楽しめた例がある。	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	経営者が定期的に職員一人ひとりと面談を行い、意見や思いを伝える場を設定している。	事業所の敷地が広く、草抜き運動など整備に取り組んでいたが、利用者の支援に比重が大きくなるにつれ負担が増している意見に、環境整備職員を専用に雇用し解決した例がある。介助技術において外部から理学療法士を講師に呼び勉強会を開催するなど、職員の意見に柔軟に対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	派遣社員を雇用し、適度に有給休暇が取れるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社外研修の受講は出勤扱いにして参加し易い体制づくりをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同町内にある「にしごこの家」との交流を続けている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人に対しては初回面接で「なにか困っている事は？」という質問を常套句としている。また、ご家族のこれまでの介護負担にも傾聴の姿勢で接している。		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族の主訴ばかりを優先する事は慎むべきではあるが、その思いには傾聴の姿勢で接するよう心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居時には前担当ケアマネや主治医などからも心情的・身体的なニーズを把握するよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>意思表示の有無で個人差が生じてしまいがちではあるが、できる方には洗濯物タミなどの家事を行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月の請求書類にご本人のお写真を同封して施設内での過ごし方を伝えたり、急な病院受診の際にはその詳細を逐一報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ流行前は地域の敬老会に参加し、地元(吉和)地域のお顔馴染みの方と再会をして頂いたり、ご家族以外にもご友人の面会を受け入れていた。(近日再会の予定)</p>	<p>利用開始時に本人、家族へ生活歴や背景を確認し、それぞれの人物像、人との繋がりや馴染みを把握している。面会も家族以外に顔なじみや友人の受け入れも可能としている。コロナ禍以前では外泊や墓参り、スーパーへ買い物に行き、近所の方と出会い話をしたりと関係性の継続に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者それぞれの配席を決めてしまわず、その時その場の様子やご機嫌に合わせて随時変更している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	看取りケアにてお亡くなりになった入居者のご家族で、ご意向があればその後の運営推進会議にお声をかけ、思いを述べて頂くグリーンケアを実施した事がある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段のかかわりからご本人の趣味嗜好を考察し、言葉にできない思いを察するよう努力している。	利用者の生活してきた背景の理解を重視している。利用開始時にその方の過ごしてきた人生の出来事を年代別に詳細に記入してもらう独自の書式を用い把握している。昔のことや傾向、その人を理解することに主眼を置き日々の関りを積み重ね、利用者の思いを汲んだ支援を実現している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人情報扱いとして厳重な管理をする前提でご入居時にご本人の生活歴を伺い、その人の人となりや察する努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	必要であれば昼食後に軽い昼寝をして頂くなど、個々の体力や体調に合わせた過ごし方を検討している。		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケア会議の場にご家族の参加実績はないが、アセスメント時にその思いや願いを伺い介護計画書に反映している。</p>	<p>支援者目線ではなく、本人目線で考えることを意識し利用者の希望や思いの実現に向け個々に合わせた計画を作成している。少しでも横になって休みたい意向に、日中の時間で休む時を頻回にとり、調子よく過ごせるようにできた例がある。半年毎にモニタリングを実施し反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>シフト勤務の職員間で申し送りを確実にするため「ユニット別」及び個別の「ケア記録」や「覚書」のほか「医療関係」「バイタル値のまとめ」といった5種類の記録を残している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>骨折による入退院後、ご家族の要望で“通いリハビリ”を始めたり、医療ニーズが高くなった事によるグループホームでのケアが難しくなった際には特別養護老人ホーム入居の支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>社会福祉協議会主催の「地域見守り訓練」に参加したり、非常時の駆け込み先として場所を提供するなど、自らが“地域資源”になっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご入居後も既存の主治医に往診対応を依頼し、馴染みの関係が続くようにしている。</p>	<p>訪問診療が行えることを基本にこれまでのかかりつけ医を継続も可能としている。今までのことを周知した上で医療を受けられることに利用者の安心にも繋げている。必要に応じて適宜専門科にも受診でき、医療関係やバイタル値のまとめなど記録も整備し日々の管理も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎月曜日に出勤する看護職員に入居者に関する医療面の様子を伝え、必要な処置をしてもらっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者をご入院となった際、施設での普段の様子やADL等の様子を書き留めたサマリーを提出し、その後の経過についてはご家族や入院先の担当者から情報を得られるよう心掛けている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に“看取り”に関する指針を説明し、実際に終末期が訪れた際にご家族（ご本人に対しての実績はない）の意向を再確認。ご家族・主治医・介護職3者による支援体制を構築している。	できるだけ可能な限り最期まで支援する方針にて、看取り件数も多くある。利用開始時に重度化した場合における対応（看取り）の指針を説明し、意向も確認している。生活の音など分かるようリビングに出て過ごせるようにしたり、好きな音楽を流すなど、個々の支援がある。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	発生してしまった事故やヒヤリハットについては報告書を提出し、同様の事故が起り得る原因や状況を共有している。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害等で被災した際は、お互いの施設内に避難するよう近隣の同業施設「にしごこの家」と非常時の連携を組んでいる。	年2回、定期的に避難訓練を計画し、その内1回は消防署指導のもと行っている。BCP（事業継続計画）の作成や短縮ダイヤル登録にて連絡の取りやすさの向上など実施している。事業所を地域の避難場所として開放することや、近隣事業所と互いの協力体制、地域との連携にて対応できるよう整えている。	



自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	乱れがちになる言葉遣いに対しては、定期的に事業所内で注意喚起を行い、ご本人の要望によりあえて敬称を使う時には、その旨を介護計画書に記載している。	毎月のカンファレンスや施設内研修で声掛けなど接遇やプライバシーの確保について実践に向け理解を深めている。気になることは管理者が適宜指導を行う他、チェック表を活用し職員個々に取り組んでいる。自身が高齢者の立場になってどう思うのかを念頭に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	起床時は着る服をご本人に選んでもらったり、これから何をしたいか随時伺っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴時間のほか、就寝や起床時間については職員の出勤時間帯の関係で決めざるを得ないが、それ以外ではご本人の望まれる場所や過ごし方を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日中着や就寝時のパジャマは毎日洗濯を行って清潔を維持している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	コロナ流行前は完全自炊で、入居者の好みにあわせた個別の献立を提供していたが、今は専門業者の調理食を利用している。	副菜は業者からの調理食を湯煎にて温め、ご飯とみそ汁を事業所で作り提供している。利用者の意向にハンバーガーの購入やチラシを見て食べたい物の希望があれば都度対応している。地元郷土料理のふな焼きを提供するなど食への楽しみを実現している。お盆拭きなど手伝いもしている。	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事や水分摂取量は記録に残し、職員全員がその把握ができる体制を創っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き(口腔ケア)は欠かさず行っており、歯科医師や歯科衛生士による定期的な口腔ケアも受けてもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>身体的な事情でトイレの使用ができない入居者以外は、定期的なトイレ誘導を行っている。</p>	<p>排泄記録をもとに個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。各トイレに前傾姿勢支持テーブル型手すりを設置し、排泄の自立支援に繋がる取り組みを行っている。様子を見て布パンツで過ごすことも意欲的に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘傾向にある入居者に対しては水分補給の促しや乳製品を提供している。それでも困難であれば主治医に相談して整腸剤や下剤類を処方してもらっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>先記述したとおり、トイレの失敗や特別な理由がない限りにおいては、職員の出動時間にあわせて午後からの入浴とさせてもらっている。</p>	<p>利用者それぞれに週に2回の入浴機会を持ち午後からゆったり入浴が行えるようにしている。シャワーチェアや手すりなど環境も整備し安全に浴槽に浸かれるよう支援している。冬至など季節によって柚子湯などを行い風情を感じながら入浴が行えるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々のタイミングに合わせて起床時間や就寝時間の順番を組むなど、可能な範囲で対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	臨時の処方や、定期処方の内容に変更があった際には、医療記録にてその効能と目的を職員間で共有できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の趣味や状況にあわせて、工作や塗り絵といった手作業や、ボール投げなどの運動を楽しんでもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ流行前は職員の所用で外出する際に同行を求めたり、墓参りや昔馴染みの場所へドライブするなどの外出支援をしていた。	コロナ禍で外出は自粛を継続しているが、天気の良い日は施設周辺の散歩を行うことが定着している。市内の花の名所に感染症対策を講じ1～2名の少人数にてレンタカーを利用し何度も往復する形で見学を楽しんでもらった取り組みがある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご入居者時に不安がないよう、希望される方には金額の詳細を把握したうえでご本人に現金が入った財布を所持してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族や友人から電話があればご本人にも電話口に出て頂いたり、ご本人の要望があればご自宅やご家族に電話連絡をしている。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者に合ったリビングや居室の温度や照明の管理を行ったり、動線上に物を置かないよう家具などのレイアウトをしている。</p>	<p>建物は利用者が落ち着いて穏やかに過ごせるよう木の温もりのある和の設えにて、リビングの吹き抜けから明るい日差しが入り開放感ある空間となっている。リビングや廊下、トイレなどは車椅子でも動きやすいよう広さや配慮のある造りである。季節感を取り入れた壁面作品も飾っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>広いリビングを利用し、気まずい関係性になった入居者と距離を置いたり、必要に応じては居室に移動してもらおうなどの対応をしている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご入居時やそれ以後でも、自宅にある馴染みの家具や物を持ち込んでもらっている。</p>	<p>リビング同様、和の設えで統一し高齢者の感覚にじっくり馴染むよう家具調の和箆箆を設置している。そこに馴染みの物など自由に持参でき、写真を飾ったり、仏壇や絵の作品などそれぞれに整えその人らしい生活が送れるよう支援している。毎日カレンダーをめくることも意識している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>必要に応じて居室入口に名札を貼ったり、トイレの水の流し方を表記した掲示をしている。</p>	/	

V アウトカム項目( 虹ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関ホールと両ユニットの壁面に“経理理念”を掲示し、毎年法人全グループで共有している社員各々の決意表明の内容を、その経営理念にちなんなものにして		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元の町内会に入会して地域の清掃活動に参加したり、敬老会等の地域行事にお招きを頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	社会福祉協議会主催の「地域見守り訓練」に参加して地域のネットワーク活動の一旦を担っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防で外部関係者を交えたものは中止していたが、今秋より再開。町内会長や民生委員、市町担当者や社協職員にもお声がけをしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	施設運営で疑問や質問があれば、随時電話や窓口を訪れて指示を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	平生のケアの中で、拘束に繋がる恐れがある事例が発生する度に注意喚起を促している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月1度の職員ミーティングの場で、権利擁護研修と題したミニ研修会を開催し、虐待やケア方法などの事柄を伝達している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	上記の権利擁護研修の中に、成年後見制度についての内容を加えた事がある。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	膨大な書類を扱う契約時のみでは一度にご理解をするのは困難であるため、契約後でも質問や疑問があれば随時受け付けるようお伝えしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関ホールにご意見箱を設置し、ご意見や苦情があれば任意で利用してもらっている。		



自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	経営者が定期的に職員ひとりひとりと面談を行い、意見や思いを伝える場を設定している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	派遣社員を雇用し、適度に有給休暇が取れるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社外研修の受講は出勤扱いにして参加し易い体制づくりをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同町内にある「にしごこの家」さんとの交流を続けている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人に対しては初回面接で「なにか困っている事は？」という質問を常套句としている。また、ご家族のこれまでの介護負担にも傾聴の姿勢で接している。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族の主訴ばかりを優先する事は慎むべきではあるが、その思いには傾聴の姿勢で接するよう心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居時には前担当ケアマネや主治医などからも心情的・身体的なニーズを把握するよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>意思表示の有無で個人差が生じてしまいがちではあるが、できる方には洗濯物タミなどの家事を行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月の請求書類にご本人のお写真を同封して施設内での過ごし方を伝えたり、急な病院受診の際にはその詳細を逐一報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ流行前は地域の敬老会に参加し、地元(吉和)地域のお顔馴染みさん方と再会をして頂いたり、ご家族以外にもご友人の面会を受け入れていた。(近日再会の予定)</p>		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者さん方の配席を決めてしまわず、その時その場のよご様子やご機嫌に合わせて随時変更している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	看取りケアにてお亡くなりになった入居者さんのご家族で、ご意向があればその後の運営推進会議にお声をかけ、思いを述べて頂くグリーンケアを実施した事がある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	平生のかかわりからご本人の趣味嗜好を考察し、言葉にできない思いを察そうと努力している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人情報扱いとして厳重な管理をする前提でご入居時にご本人の生活歴を伺い、その人の人となりを探る努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	必要であれば昼食後に軽い昼寝をして頂くなど、個々の体力や体調に合わせが過ぎ方を検討している。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケア会議の場にご家族の参加実績はないが、アセスメント時にその思いや願いを伺い介護計画書に繁榮している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>シフト勤務の職員間で申し送りを確実にするため「ユニット別」及び個別の「ケア記録」や「覚書」のほか「医療関係」「バイタル値のまとめ」といった5種類の記録を残している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>骨折による入退院後、ご家族の要望で“通いリハビリ”を始めたり、医療ニーズが高くなった事によるグループホームでのケアが難しくなった際には特養入居の支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>社会福祉協議会主催の「地域見守り訓練」に参加したり、非常時の駆け込み先として場所を提供するなど、自らが“地域資源”になっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご入居後も既存の主治医に往診対応を依頼し、馴染みの関係が続くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎月曜日に出勤する看護職員に入居者さんに関する医療面の様子を伝え、必要な処置をしてもらっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者さんがご入院となった際、施設での平生の様子やADL等の様子を書き留めたサマリーを提出し、その後の経過についてはご家族や入院先の担当者から情報をアルメルよう心掛けている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に“看取り”に関する指針を説明し、実際に終末期が訪れた際にご家族(ご本人に対しての実績はない)の意向を再確認。ご家族・主治医・介護職3者による支援体制を構築している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	発生してしまった事故やヒヤリハットについては報告書を提出し、同様の事故が起こるり得る原因や状況を共有している。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害等で被災した際は、お互いの施設内に避難するよう近隣の同業施設「にしごこの家」と非常時の連携を組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	乱れがちになる言葉遣いに対しては、定期的に事業所内で注意喚起を行い、ご本人の要望によりあえて敬称を使う時には、その旨を介護計画書に記載している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	起床時は着る服をご本人に選んでもらったり、これから何をしたいか随時伺っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴時間のほか、就寝や起床時間については職員の出勤時間帯の関係で決めざるを得ないが、それ以外ではご本人の望まれる場所や過ごし方を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日中着や就寝時のパジャマは毎日洗濯を行って清潔を維持している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	コロナ流行前は完全自炊で、入居者さん方の好みにあわせた個別の献を提供していたが、今は専門業者の調理食を利用している。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事や水分摂取量は記録に残し，職員全員がその把握ができる体制を創っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き（口腔ケア）は欠かさず行っており，歯科医師や歯科衛生士による定期的な口腔ケアも受けてもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>身体的な事情でトイレの使用ができない入居者さん以外は，定期的なトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘傾向にある入居者さんに対しては水分補給の促しや乳製品を提供している。それでも困難であれば主治医に相談して整腸剤や下剤類を処方してもらっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>先記述したとおり，トイレの失敗や特別な理由がない限りにおいては，職員の出勤時間にあわせて午後からの入浴とさせてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々のタイミングに合わせて起床時間や就寝時間の順番を組むなど、可能な範囲で対応をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>臨時の処方や、定期処方の内容に変更があった際には、医療記録にてその効能と目的を職員間で共有できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の趣味や状況にあわせて、工作や塗り絵といった手作業や、ボール投げなどの運動を楽しんでもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ流行前は職員の所用で外出する際に同行を求めたり、墓参りや昔馴染みの場所へドライブするなどの外出支援をしていた。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご入居者時に不安がないよう、希望される方には金額を詳細を把握したうえでご本人に現金が入ったサイフを所持してもらっている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族や友人から電話があればご本人にも電話口に出て頂いたり、ご本人の要望があればご自宅や子供さん宅に電話連絡をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者さん方に合ったビンゴや居室の温度や照明の管理を行ったり、動線上に物を置かないよう家具などのレイアウトをしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>広いリビングを利用し、気まずい関係性になった入居者さん方と距離を置いたり、必要に応じては居室に移動してもらうなどの対応をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご入居時やそれ以後でも、自宅にある馴染みの家具や物を持ち込んでもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>必要に応じて居室入口に名札を貼ったり、トイレの水の流し方を表記した掲示をしている。</p>		

V アウトカム項目( 星ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ

作成日 令和5年1月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待について職員によって認識や理解に差異がある。	法律に基づいた虐待に関する研修を行い職員の見解を統一する。	年間をとおして定期的・計画的な研修会を開催する。	1年間
2	49	外出支援が全く行えていない。	入居者さん個々にあわせた外出を行う。	敷地外の外出が無理な方でも、敷地内やテラスには出て頂く。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。